

会 告

[ゴシック体は本会主催]

開催日	催物ご案内():開催地	参加費 (テキスト代)	申込締切 期日等	掲載号
6月15~16日(水~木)	第11回 JACI/GSC シンポジウム(WEB)	—	—	第80巻5号
17日(金)	2022年度「ぶんせき講習会」(基礎編その2)(大阪)	—	20名 6月10日	第80巻4号
17~19日(金~日)	第46回有機電子移動化学討論会・第16回有機電子移動化学若手の会(鳥取)	—	—	第80巻4号
20~21日(月~火)	第28回化学安全講習会(大阪)	—	6月3日	第80巻4号
24~25日(金~土)	第55回天然物化学談話会(WEB)	—	—	第80巻5号
27~29日(月~水)	第54回有機金属若手の会 夏の学校(淡路)	—	—	第80巻5号
6月28~29日(火~水)	第120回有機合成シンポジウム(WEB)	—	—	本号
30日(木)~ 7月1日(金)	日本プロセス化学会 2022 サマーシンポジウム(富山)	—	6月3日	第80巻5号
30日(木)~ 7月1日(金)	創薬懇話会 2022 in 名古屋(名古屋・WEB)	—	—	第80巻4号
7月1日(水)	若手研究者のための有機合成札幌セミナー(WEB)	無料	—	本号
2日(土)	第59回化学関連支部合同九州大会(北九州)	—	—	第80巻2号
8日(金)	2022年度「ぶんせき講習会」(実践編)第67回機器による分析化学講習会(大阪)	—	20名 7月1日	第80巻5号
8日(金)全6回	第27講研究開発リーダー実務講座 2022(大阪・WEB)	—	—	本号
16日(土)	菅敏幸教授追悼シンポジウム(静岡・WEB)	無料	6月20日	本号
8月3~5日(水~金)	第56回有機反応若手の会(京都)	—	—	本号
5日(金)	近畿化学協会フロー・マイクロ合成研究会 第36回公開講演会—講演&展示—(大阪・WEB)	—	—	本号
10日(水)	第42回有機合成若手セミナー(WEB)	—	—	本号
9月10~11日(土~日)	第38回シクロデキストリンシンポジウム(さいたま)	—	—	第80巻5号
13日(火)	第25回ヨウ素学会シンポジウム(千葉)	—	—	第80巻4号
15~17日(木~土)	第51回複素環化学討論会(吹田)	—	—	第80巻5号
17~18日(土~日)	令和4年度化学系学協会東北大会(盛岡)	—	—	第80巻4号
20~22日(火~木)	第32回基礎有機化学討論会(第51回構造有機化学討論会・第71回有機反応化学討論会)(京都)	—	—	第80巻4号
28~30日(水~金)	第38回有機合成化学セミナー(北九州)	—	—	本号
10月3~4日(月~火)	第13回大津会議 Otsu Conference 2022(大津)	—	—	第80巻5号
6~10日(日~木)	第5回ハロゲン結合国際シンポジウム(ISXB5)(木更津)	—	—	第80巻5号
11月8~9日(火~水)	第121回有機合成シンポジウム(東京)	—	—	本号

本誌会告への掲載について 本誌会告欄では、本会の本部・支部が主催または共催する催しものについては必要な範囲で全文を掲載いたします。他学協会等の主催するもので、本会が協賛の催しものは一部の内容のみの掲載とさせていただきます。協会HPにも掲載しております。原稿締切は掲載号の前々月25日(8月号は6月24日)厳守です。なお、開催の可否等、詳細は主催団体のHPをご覧ください。

第120回有機合成シンポジウム

主催 有機合成化学協会

日時：6月28日(火)～29日(水)

開催方法：オンライン

発表形式：「口頭発表(質疑応答含め20分)」のみ。学生優秀発表賞の選考と表彰を予定。

参加登録費：一般(主催・共催会員)8,000円、一般(主催シニア会員)6,000円、学生(会員、会員外)4,000円、一般(会員外)15,000円。いずれも予稿集(PDFダウンロード形式)を含む。

申込方法：協会HP(<https://www.ssocj.jp/event/120symposium/>)よりお申し込み下さい。

参加申込締切：6月21日(火)。当日受付を行いませんのでご注意ください。

問合せ先：101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 有機合成化学協会「シンポジウム係」(TEL 03-3292-7621, FAX 03-3292-7622, e-mail: syn.org.chem@tokyo.email.ne.jp)

※上記HPに、本シンポジウムに関する最新情報を随時更新しますので、こちらもご確認ください。

若手研究者のための有機合成札幌セミナー

主催 有機合成化学協会北海道支部
共催 有機合成化学協会

日時：7月1日(水)

*例年と開催時期が異なるのでご注意ください。

開催方法：オンライン

講演者：道内の若手研究者3～4名、西川慶祐(大阪公立大学)

参加費：無料。参加希望の方は下記のe-mailにご連絡下さい。

問合せ先：060-0810 札幌市北区北10条西8丁目 有機合成化学協会北海道支部事務局 池内和忠(TEL 011-706-2706, e-mail: ikeuchi@sci.hokudai.ac.jp/)

第27講研究開発リーダー実務講座2022 —企業の将来を担う理想の研究開発 リーダー像とは?—

主催 近畿化学協会
協賛 有機合成化学協会関西支部ほか

日時：7月8日(金)、8月3日(水)、9月9日(金)、10月6日(木)、11月2日(水)、12月2日(金)

開催方法：大阪科学技術センター(550-0004 大阪市西区鞆本町1-8-4)(オンライン併用)

プログラム：

7月8日(金)第1回(研究開発リーダーのあり方)

1. 研究開発者が持つべき「商品力」とは—あなたが開発した商品はなぜ売れないのか—(ケルセジェン・ファーマ/アルプス薬品)小野光則

8月3日(水)第2回(新規事業への挑戦とアントレプレナーシップ)

1. 目撃証言 富士フィルムのトランスフォーメーション(富士フィルム)曾呂利忠弘
2. 科学技術イノベーション創出のためのアントレプレナーシップ(神戸大院経営)忽那憲治

9月9日(金)第3回(人財を活かすマネジメント)

1. 研究開発マネジメントとダイバーシティ推進(ウェストコーナー)西田まゆみ
2. 三洋化成の社員のモチベーションを高める施策について(三洋化成)前田浩平

10月6日(木)第4回(産学連携と知財戦略)

1. 産学連携を成功に導く知財戦略(特許庁)進士千尋
2. 産学連携によるイノベーションの創出(神戸大院科学技術イノベ)坂井貴行

11月2日(水)第5回(イノベーションと変革)

1. イノベーションを先導できる研究リーダーとは?(医療基盤研)近藤裕郷
2. 「月曜日が楽しみな会社にしよう!」研究開発の生産性を飛躍的に向上させ、イノベーションを加速する全体最適のマネジメント理論 TOC(Goldratt Japan)岸良裕司

12月2日(金)第6回(ビジョンと独創的な製品開発)

1. 創薬への情熱—睡眠薬ロゼレムの誕生秘話—(東和薬品)内川治

(各回終了後、グループディスカッション、交流会(対面式参加者のみ)を開催)

参加費：主催団体所属会員66,000円、協賛団体所属会員88,000円、会員外110,000円(1名参加分、6回通し受講のみ、消費税込)

申込・問合せ先：550-0004 大阪市西区鞆本町1-8-4 大阪科学技術センター6階 近畿化学協会「研究開発リーダー実務講座」係(TEL 06-6441-5531, FAX 06-6443-6685, e-mail: seminar@kinka.or.jp, HP <https://kinka.or.jp/event/2022/27leader.html>)

菅敏幸教授追悼シンポジウム

主催 菅敏幸教授追悼記念事業会
協賛 有機合成化学協会ほか

日時：7月16日(土)

会場：静岡県立大学講堂(422-8526 静岡市駿河区谷田52-1)(オンライン併用)

講師 (50音順, 敬称略):

浅川倫宏(東海大学), 及川雅人(横浜市立大学), 河岸洋和(静岡大学), 土井隆行(東北大学), 夏苺英昭(新潟薬科大学), 廣岡康男(小野薬品工業), 福山透(東京大学), 横島聡(名古屋大学), 脇本敏幸(北海道大学)

参加費: 無料

参加申込方法: 詳細はHP(<https://www.us-yakuzo.jp/>)をご参照下さい。

申込締切: 6月20日(月)

問合せ先: 422-8526 静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学薬学部内 菅敏幸教授追悼記念事業会事務局(担当: 吉村文彦, 稲井誠, 大内仁志)(TEL 054-264-5740, e-mail: fumi@u-shizuoka-ken.ac.jp)

第56回有機反応若手の会

主催 第56回有機反応若手の会
後援 有機合成化学協会ほか

日時: 8月3日(水)~5日(金)

会場: あうる京北(601-0533 京都市右京区京北下中町烏谷2)

特別講演: 6件(予定)

発表形式: 口頭発表(発表15分, 質疑5分を予定)およびポスター発表

発表申込方法: HP(<https://touche-np.org/yukiwakate>)をご覧下さい。

問合せ先: 京都大学大学院工学研究科 生越友樹(TEL 075-383-2733, e-mail: yukiwakate@touche-np.org)

近畿化学協会フロー・マイクロ合成研究会 第36回公開講演会—講演&展示—

主催 近畿化学協会合成部会フロー・マイクロ合成研究会
協賛 有機合成化学協会関西支部ほか

日時: 8月5日(金)

会場: 大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1-8-4)
(オンライン併用)

プログラム:

1. 工業化を志向したフロー合成研究(阪大院理)福山高英
 2. ツインカラム連続クロマトグラフィーを用いたバイオ医薬品の効率的生産(ワイエムシイ)黒田典孝
 3. 出展企業プレゼンテーション
 4. メカノケミカル有機合成の可能性: 高速・溶媒削減・新反応(北大院工)伊藤肇
 5. Selectivity control by flow chemistry(Univ. of Rouen, France)Julien Legros
 6. 有機電解合成の新展開: フローケミストリーや機械学習と組み合わせ何が出来るか?(岡山大院学術研究院)菅誠治
- 展示: 自動合成・マイクロ合成装置などのデモ

参加申込締切: 7月29日(金)。対面式は参加人数を制限します。

参加費: フロー・マイクロ合成研究会会員: 無料, 協賛団体会員(法人)15,000円, 大学・公設機関5,000円, 会員外

20,000円(いずれも消費税含む)

申込方法: 参加申込フォーム(<https://kinka.or.jp/form/view.php?id=95555>)よりお手続き下さい。

申込先: 550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 近畿化学協会合成部会フロー・マイクロ合成研究会(TEL 06-6441-5531, FAX 06-6443-6685, e-mail: seminar@kinka.or.jp, HP <http://flowmicro.com/>)

第42回有機合成若手セミナー 明日の有機合成を担う人のために

主催 有機合成化学協会関西支部
共催 日本薬学会関西支部

日時: 8月10日(水)

開催方法: オンライン

プログラム:

1. 招待講演「構造制御による金属種の創成と選択的反応への展開」(阪大院工)安田誠
2. 若手講演「機能性分子を指向したフッ素化- β -ラクタムの構造変換」(摂南大薬)樽井敦
3. 招待講演「マイクロリアクター研究が導く高速合成化学」(北大院理)永木愛一郎
4. 若手研究発表
5. 招待講演「高反応性分子を活用した高次縮環芳香族化合物の合成」(関学大生命環境)羽村季之
6. 招待講演「創薬化学分野における共同発明の発明者認定の重要性」(高島国際特許事務所)當麻博文
7. 招待講演「光受容機能解明を目指したフィトクロム発色団の合成」(金沢大理工)宇梶裕

定員: 講演会300名, 若手研究発表80件

参加費: 会員企業・大学・官公庁(研究室): 8,000円, 企業・大学・官公庁(個人): 3,000円, 学生(個人): 2,000円(要旨集<電子ファイル>代を含む)※研究室でお申込みいただいた場合は, 研究室所属のメンバーならどなたでもご参加いただけます。

参加申込方法: 本セミナーのHPからご登録下さい。もしくは, 「第42回有機合成若手セミナー申込書」と題記の上, ①氏名, ②大学名(学年, 研究室名も必ず)または勤務先, ③連絡先(住所・TEL・e-mail), ④若手研究発表の有無を明記しe-mailにてお申し込み下さい。

参加申込締切日: 7月15日(金)

若手研究発表募集: 発表希望の方はHPの発表申込方法に従って, お申し込み下さい(ただし, 発表者の年齢は35歳未満が望ましい)。優秀研究発表賞の審査にエントリーされた方を対象に審査を行います。受賞の対象は, 有機合成化学協会もしくは日本薬学会の会員に限ります。

発表申込締切日: 6月30日(水)必着(先着80件まで受け付けます)

問合せ・申込先: 550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル6F 有機合成化学協会関西支部(TEL 06-6441-5531, FAX 06-6443-6685, e-mail: seminar@soc-kansai.org, HP <http://www.soc-kansai.org/event/2022/2022wakate.html>)

* * *

住木・梅澤記念賞 2022 年度募集

対象研究業績：抗生物質を始めとする生物活性物質に関連した優れた研究業績であって、将来の発展を期待しうるもの。ただし、本会の刊行誌である The Journal of Antibiotics 又は The Japanese Journal of Antibiotics に少なくとも 1 報は発表されていること。また、他の学会賞等、本賞と同等の賞の受賞対象となっていないこと。

応募資格：教育研究機関、医療機関、企業その他の研究施設等に所属し、現に研究に従事している研究者又は研究グループ。

応募方法：推薦者又は所属長の推薦状(必須)を添え、下記の申請書類を 4 月 1 日～6 月 30 日までに提出する。

- ・申請書、推薦状、候補者の履歴書、研究発表の一覧表
- ・研究オリジナル論文、今後の研究の展望

選考方法：選考委員会で受賞対象 2 件以内(該当者がいない場合もある)を決定する。

授賞発表：原則として 11 月に授賞式・講演会を開催し、賞状、賞牌及び副賞として研究助成金 100 万円を贈呈するとともに、受賞者は受賞研究内容の発表講演を行う。また、受賞者は、受賞対象研究業績に関する総説を本会刊行誌に投稿する。

その他：副賞(100 万円)に関する経理は所属機関による機関経理とする。また、受賞者が国外に居住する場合、受賞講演に要する旅費のうち、国外の居住地と国内との間の旅費は支給しない。

申請書の請求および提出先：141-0021 東京都品川区上大 2-20-8 公益財団法人日本感染症医薬品協会(TEL 03-3491-0181, e-mail: gakkyo@antibiotics.or.jp, HP <https://www.antibiotics.or.jp/news/award-sumiki/overview/>)

Chemist Award BCA & Lectureship Award MBLA 2022 の募集

対象分野：有機合成化学及びその関連分野

応募資格：①国内の大学またはこれに準ずる研究機関において研究活動に従事し、2022 年 4 月 1 日の時点で満 40 歳未満の研究者。なお、ライフイベント(出産・育児・介護)により研究を中断(休職)した場合、その期間に相当する月数を年齢制限の上限から延長する。②国籍は問わないが、日本国内の大学または研究機関で実施された研究を対象とする。③他者の推薦のある者。④各賞(BCA・学会賞・奨励賞・進歩賞)の受賞経歴は問わない。

表 彰：

「Chemist Award BCA」①記念品(盾)の授与、②財団ホームページ、関連専門誌等での発表

「Lectureship Award MBLA」①万有シンポジウム(札幌、仙台、福岡のいずれか)での研究内容の発表及び表彰式。②海外の著名大学及び研究機関における講演(旅費支給)。③財団ホームページ、関連専門誌等での発表。

選考方法：選考委員会による選考を行う。「Chemist Award BCA」(数名)：2022 年 10 月頃決定予定。「Lectureship Award MBLA」(1 名)：2023 年 2 月頃決定予定。

応募方法：ホームページからご応募下さい。

応募締切：2022 年 8 月 20 日(土)

応募・問合せ先：102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12 北の丸スクエア 公益財団法人 MSD 生命科学財団 「BCA/MBLA」事務局(E-mail: chem@msd-life-science-foundation.or.jp, URL https://www.msd-life-science-foundation.or.jp/symp/bca/bca_entry.html)